平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名　ワイエスフード株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3358　URL　http://www.ys-food.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 緒方　正憲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理本部長　(氏名) 筒井　和久　TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,214	△8.1	26	△79.0	16	△85.2	△81	―
23年3月期第3四半期	2,410	△14.3	125	46.2	113	37.9	14	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△67百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　13百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△2,171.74	―
23年3月期第3四半期	363.70	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,345	2,170	49.9
23年3月期	4,255	2,238	52.6

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　2,170百万円　23年3月期　2,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	―	―
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成24年3月期末につきましては、今後の経営環境が不透明であることから、現時点では未定としております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,855	△9.9	25	△82.7	12	△90.2	△83	―	△2,237.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	38,730 株	23年3月期	38,730 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,400 株	23年3月期	1,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	37,330 株	23年3月期3Q	37,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により制約を受けたサプライチェーンの復旧などにより持ち直しの動きが見られたものの、欧州の財政危機や株価低迷、円高の進行などの不安材料も多く、雇用・所得環境が改善しないまま個人消費が伸び悩む等厳しい状況が続き、依然として不透明感が拭えない状況にあります。

外食産業におきましても、震災後の農作物等の放射能汚染や、外食チェーン店において発生した食中毒問題に起因する、消費者の食の安心・安全に対する関心はより一層強まることに加え、同業他社との競争も激化する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは「お客様満足度101％以上の実現」をスローガンに、店舗モニタリングの継続と、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、お客様から信頼を得られるよう、店舗体質の改善を進めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては売上高2,214百万円（前年同四半期比8.1%減）の減収となり、利益面では、営業利益26百万円（同79.0%減）、経常利益16百万円（同85.2%減）の減益となりました。

当四半期純損益は、減損損失等の特別損失の発生もあり、四半期純損失81百万円（前年同四半期は四半期純利益14百万円）となりました。

報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

（外食事業）

当第３四半期連結累計期間における外食事業におきましては、各種セール及び新メニューの導入を実施するとともに、店舗モニタリングの継続と、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、店舗体質の改善に努めてまいりました。なお、当第３四半期連結累計期間の店舗状況は、新規出店が12店舗（直営店１店舗、ＦＣ店５店舗、海外６店舗）、店舗閉鎖が15店舗（直営店５店舗、ＦＣ店10店舗）、直営店からＦＣ店へ変更した店舗が５店舗あり、当第３四半期連結累計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ３店舗減少して150店舗（直営店41店舗、ＦＣ店94店舗、海外15店舗）となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は2,084百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益70百万円（同58.1%減）となりました。

（不動産賃貸事業）

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第３四半期連結累計期間の売上高は43百万円（同0.8%減）、営業利益15百万円（同2.4%増）となりました。

（外販事業）

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第３四半期連結累計期間の売上高は85百万円（同9.9%減）、営業損失19百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）となりました。

なお、第２四半期連結累計期間より、従来「その他」に含まれていた「外販事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は1,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が202百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が136百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円の増加となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は1,000百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が19百万円減少したものの、１年以内返済予定の長期借入金が28百万円増加したこと等によるものであります。また、固定負債は1,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が160百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円の増加となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が81百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.9％（前連結会計年度末は52.6％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年５月13日に発表いたしました平成24年３月期通期の業績予想（連結・個別）を修正することといたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年２月３日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527,875	730,263
売掛金	82,242	107,628
有価証券	10	10
商品及び製品	140,203	128,382
仕掛品	4,814	3,111
原材料及び貯蔵品	22,924	26,395
その他	112,071	86,583
貸倒引当金	△2,681	△2,381
流動資産合計	887,460	1,079,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,259,994	1,175,030
機械装置及び運搬具（純額）	125,488	99,617
土地	1,634,468	1,634,468
その他（純額）	47,175	21,992
有形固定資産合計	3,067,126	2,931,109
無形固定資産		
のれん	59,776	44,832
その他	11,158	13,687
無形固定資産合計	70,935	58,520
投資その他の資産		
投資有価証券	22,287	35,585
繰延税金資産	46,936	95,805
敷金及び保証金	161,103	151,596
その他	13,971	7,808
貸倒引当金	△14,806	△14,657
投資その他の資産合計	229,492	276,139
固定資産合計	3,367,555	3,265,768
資産合計	4,255,015	4,345,763

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,153	129,727
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	383,688	411,708
未払法人税等	31,687	24,262
賞与引当金	23,196	7,511
ポイント引当金	7,668	5,602
資産除去債務	－	2,139
その他	203,580	219,350
流動負債合計	998,975	1,000,302
固定負債		
長期借入金	739,022	899,612
退職給付引当金	77,802	81,725
役員退職慰労引当金	43,952	41,946
資産除去債務	42,434	41,723
その他	114,254	109,749
固定負債合計	1,017,467	1,174,757
負債合計	2,016,442	2,175,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	467,249	386,177
自己株式	△29,400	△29,400
株主資本合計	2,239,649	2,158,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,075	12,125
その他の包括利益累計額合計	△1,075	12,125
純資産合計	2,238,573	2,170,703
負債純資産合計	4,255,015	4,345,763

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	2,410,345	2,214,590
売上原価	769,688	729,985
売上総利益	1,640,657	1,484,605
販売費及び一般管理費	1,514,896	1,458,248
営業利益	125,760	26,356
営業外収益		
受取利息	1,076	656
受取配当金	89	89
受取保険金	31	792
協賛金収入	2,730	585
その他	3,416	3,691
営業外収益合計	7,343	5,815
営業外費用		
支払利息	16,052	14,403
持分法による投資損失	2,784	－
その他	307	889
営業外費用合計	19,144	15,293
経常利益	113,959	16,878
特別利益		
固定資産売却益	2,142	35
貸倒引当金戻入額	4,541	－
特別利益合計	6,683	35
特別損失		
固定資産除却損	1,430	6,552
減損損失	12,853	78,307
敷金及び保証金解約損	850	2,744
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,980	－
特別損失合計	29,114	87,604
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	91,528	△70,690
法人税、住民税及び事業税	27,976	27,226
法人税等調整額	49,466	△16,845
法人税等合計	77,442	10,381
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	14,086	△81,071
四半期純利益又は四半期純損失（△）	14,086	△81,071

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	14,086	△81,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△369	13,201
持分法適用会社に対する持分相当額	0	－
その他の包括利益合計	△369	13,201
四半期包括利益	13,716	△67,870
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,716	△67,870
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	2,272,030	43,937	94,378	2,410,345	－	2,410,345	－	2,410,345
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10,850	117	4,230	15,198	－	15,198	△15,198	－
計	2,282,881	44,054	98,608	2,425,544	－	2,425,544	△15,198	2,410,345
セグメント利益又は損失（△）	167,507	15,347	△14,471	168,382	－	168,382	△42,622	125,760

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△42,622千円には、セグメント間取引消去2,914千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,536千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、12,853千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	2,084,618	43,591	85,086	2,213,296	1,293	2,214,590	－	2,214,590
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10,133	117	3,405	13,656	－	13,656	△13,656	－
計	2,094,752	43,708	88,491	2,226,952	1,293	2,228,246	△13,656	2,214,590
セグメント利益又は損失（△）	70,119	15,715	△19,321	66,513	142	66,656	△40,300	26,356

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△40,300千円には、セグメント間取引消去3,374千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△43,675千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第２四半期連結累計期間より、「その他」に含まれていた「外販事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、78,307千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。